

愛有会 運営事業所

久米川病院

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-393-5511**

介護老人保健施設

久米川 通所リハビリテーション

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-313-0710**

訪問看護ステーション

はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-396-7700**

指定居宅介護支援事業所

はぎやま

東京都東村山市本町 4-7-14
TEL. **042-391-3007**

三愛クリニック

東京都八王子市宮下町 377 番地
TEL. **042-691-4111** (代表)

さんあい 介護医療院

東京都八王子市宮下町 377 番地
TEL. **042-691-4111** (代表)

三愛訪問看護 ステーション

東京都八王子市宮下町 377 番地
TEL. **042-691-4131** (代表)

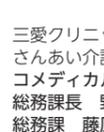


(以下左から)
編集長
法人事業部長 浅野

法人事業部
統括マネージャー 服部



久米川病院
介護老人保健施設久米川
事務長 八尋
情報室長 長岡
看護事務 川合
総務課 永尾



三愛クリニック
さんあい介護医療院
コメディカル部長代理 上利
総務課長 野口
総務課 藤原



訪問看護ステーションはぎやま
事務 小森

社会医療法人社団 愛有会

愛有会通信

■発行者／東京都東村山市本町4-7-14
社会医療法人社団 愛有会
TEL.042-390-2033
<http://www.aiyukai.jp>

社会医療法人社団 愛有会

愛有会通信

令和6年1月 発行

Vol.13

通算 第232号

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます

愛有会 基本理念

- 1. 地域包括ケア**
私たちは、医療・看護・介護・予防・生活支援のサービスを通じて、地域と共に安全で安心して暮らしていける街づくりに貢献します。
- 2. 環境経営**
私たちは、様々な環境への取り組みを責務と考え、職員全員で質の向上と環境負荷の低減に努めます。
- 3. 健康経営**
私たちは、職員の健康保持と共に働き方改革を推進し、多様な人材が向上心を持って働き続けられるよう努めます。
- 4. 地域防災**
私たちは、事業活動と地域社会活動を持続していくため、災害防止対策と災害時支援活動に地域と共に取り組みます。

新年あけまして おめでとうございます

社会医療法人社団 愛有会

理事長

阿部 真也

久米川病院 院長
介護老人保健施設 久米川 施設長



私たち愛有会は、多くの職員、関係者、そして市民の皆様に支えられて、久米川病院開設から60年を迎えることができました。当初より一貫して救急医療に取り組んできましたが、その積み重ねが特定医療法人格から社会医療法人格へと繋がり、そして市の中心部にある都有地での事業認可へと導かれてきました。

現在の愛有会は、4つの理念のもとで事業を運営しています。

1つめは地域包括ケアを支えることです。この目的は、市民の在宅生活を守ることにあります。そのため、地域の関係機関と密接に連携しながら、救急医療・リハビリテーション・入所介護・在宅医療等、広く対応できるように努めています。

2つめは環境経営です。病院・介護施設は、水・電気・ガスのみならず、医薬品からオムツまで多量に消費し、多量の廃棄物を排出します。従って環境に与える負荷は大きく、その社会的責任は重大であることから、それらを減らすために毎日小さな活動を繰り返しています。

3つめは健康経営です。長寿社会の進行により、健康寿命という考えが認識されてきています。人は

生きている限り健康を保つことで、より楽しく充実した人生をおくることができます。高齢期の健康は、若い頃からの生活習慣によるところが大です。働き盛りの年代は様々なストレスにさらされ、そのストレスが生活習慣の乱れを引き起こし、その影響が年齢とともに現れてきます。そのため、就業期間中の健康管理と健康保持の大切さは、もっと強調され自覚されるべきと考えます。愛有会では第三者評価を取り入れて、様々な指標に沿って健康度の向上を目指しています。

4つめは地域防災です。近年、地震・風水害・異常気象など自然災害による被害の増加がみられ、事業を営む者にとって災害時の事業継続への備えが必須となってきました。特に病院や介護施設は、多くの収容者の人命を守り、被災者の救援にあたる重要な役割を担うため、いざという時の地域の防災の拠点としてしっかり機能できるよう対策と訓練に務めています。

地域の成長・発展なくして愛有会の成長・発展はありません。これからも地域住民への安心・安全な医療と介護の提供を通じて、地域社会への貢献に務めてまいります。

久米川病院・老健久米川・通所リハビリ



医局長 阿部一雅

整形外科では2023年から脊椎内視鏡手術を導入し、手外科専門外来を開設しました。2023年度の手術件数は250件を見込んでおります。幅広い高度医療で地域に貢献して参ります。



事務長 武田嘉朗

病院・老健久米川の安定した経営、更なる収入増加に向けた対策、支出削減に向けた取組を行ってまいります。



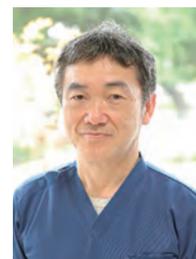
内科医 佐藤任宣

毎日忙しくしておりますが、身体を大切に心を穏やかに魂を磨き、善き診療をする所存であります。



事務長 八尋裕子

病院(入院・外来・救急・健診)と老健(入所・短期入所・通所リハビリ)の更なる機能充実と、一体的な運用を強化してまいります。



内科医 星作男

新型コロナウイルスもおさまり、平穏な日々が取り戻されました。次なる新興感染症に、万全に備えていきたいと思っております。



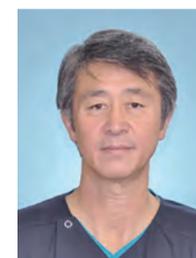
介護部係長 平良京子

2022年10月以降老健久米川は超強化型を取得しました。これからも他職種と連携していきながら頑張っていきます。



看護部長 横尾藍

救急車・外来の受け入れを強化していきます。地域の皆様のニーズに答えられるよう頑張っていきます。



コメディカル部長 渡辺一雄

今年の辰年は、活力が旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。皆さんも大きく成長し、形がととのう年になる事を願っています。



副看護部長 山本恵視

地域の皆様に安心・安全な医療を提供できるように、スタッフ一丸となって前進してまいります。



副コメディカル部長 長尾重知

国内外の多種多様な環境に心を乱され、新しい年を迎えました。ただ平穏な暮らしを祈るばかりです。

久米川病院

睡眠時無呼吸外来のご案内

2023年4月より睡眠時無呼吸外来が開始されました。

以下のような症状はありませんか？

- ◎昔からいびきをかく
- ◎家族に、「寝ている時に息が止まっている」とか「いびきが大きい」と言われた
- ◎昼間に耐え難い眠気がある
- ◎抑うつ気味である
- ◎頻回に中途覚醒する
- ◎集中力が低下する
- ◎夜間の頻尿
- ◎起床時に頭痛がする

上記に該当する方は、寝ている時に息が止まってしまう睡眠時無呼吸症候群の可能性がります。日中の眠気は不眠症であったり、むずむず足症候群であったりとさまざまな原因があり、いびきが全て病気のわけではありませんが、寝ている時に息が止まっていて体に良いことは一つもありません。高血圧や高脂血症、不整脈、糖尿病、虚血性心疾患、脳血管障害など様々な合併症を引き起こします。先に述べた症状に少しでも思い当たることがあれば、気楽に外来を受診して下さい。

診断・検査について

一般的にはまず自宅で簡易検査キットによってスクリーニング検査をします。検査キットが業者より自宅に郵送され、寝る前に装着し、翌日外して業者に送り返します。

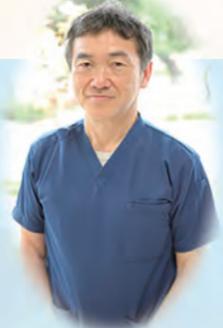
2週間後に病院に結果が郵送されますので、外来を受診して下さい。右図は簡易検査キットを装着した時の写真です。取り付け方法については病院のホームページにも紹介されています。

スクリーニング検査で無呼吸が疑われた場合は、1泊入院して終夜睡眠ポリグラフ検査（PSG検査）を行い、診断を確定させます。希望される方には、最初から入院してPSG検査を受ける事もできます。こちら検査の結果は2週間ほどで出ますので、外来で結果を説明します。



星 作男 医師【常勤】

外来日：毎週月曜日 午後2時～4時30分（受付）
診療科：アレルギー・呼吸器内科、睡眠時無呼吸外来
所属学会：日本内科学会、日本呼吸器学会、日本アレルギー学会、日本感染症学会、日本睡眠学会
認定資格：医学博士、内科認定医、アレルギー専門医、産業医、難病指定医、呼吸機能障害指定医、ICD（インфекション コントロール ドクター）



東村山市の産業まつりに参加してきました

2023年11月10日と11日の2日間で東村山産業まつりが4年ぶりに開催されました。今年の市民産業まつりでは「手洗い君」を使った手洗いチェックと、フレイル（※）の早期発見・予防を目的とした筋力チェックを行い、お子さんからご年配の方まで幅広い年代の皆様に体験していただきました。

手洗いチェックでは、自分ではよく洗えていると思っていても意外と洗えていないことや、洗い残しが発生しやすい部分を知ってもらう事ができました。

筋力チェックでは、握力測定や簡単な筋力テストを行い、自分の体の状態を把握し、フレイルの予防をする大切さを伝えるきっかけになったと思います。

（※）フレイルとは…健康な状態と要介護状態の中間の段階を指します。

文責：検査科 竹内



集団レクリエーションを開催しました

コロナ禍でできなかった集団レクリエーションを再開しました。感染対策を整えた上で老健の2フロアでスイートポテトづくりや風船運動会などを行いました。今後も生き生きとした生活を送ることができるようお手伝いしていきたいと思ひます。

文責：リハビリ科 福中



さんあい介護医療院・三愛クリニック



小野院長

〈プロフィールと資格〉

1985年日本大学医学部卒、89年大学院修了。
米国内科学会上級会員（FACP）、
総合内科専門医、内科認定医、神経
内科専門医、脳卒中専門医、日本医
師会認定産業医、身体障害者福祉
法第15条指定医（肢体不自由）。

皆さま、あけましておめでとうございます。2024年1月1日付で、さんあい介護医療院・三愛クリニックの院長を拝命致しました小野真一（おのしんいち）です。私は大学卒業以来、アカデミアの世界で職業人としての人生を過ごしてきました。医学部で臨床に18年間、その後、医療系学部で教員として週1回の臨床の傍ら研究と教育に18年間勤しみました。直近の過去2年は療養病院で地域医療の一翼を担うことを勉強させて頂きました。これまでのキャリアを活かし、当院を通して職業人として社会に最後のご奉仕を致す所存です。現代の医療は医師、看護師、介護士、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、医療社会福祉士、医療事務等から構成されるチームによるpatient-oriented medicineです。これがタスクシフトと相まって言葉の上滑りではなく有機的に機能し、実践・具現化されて地域の皆さまに還元されるべく努力致しますので、皆様方のお力添えを宜しくお願い致します。

院長として重要な責務は医療安全、スタッフの確保、経営です。医療安全は一部のスタッフが担うものではなく、職場の一人一人がそれぞれの立場で日々実践するものです。それには職場の心理的安全性も重要です。これまでの当院の“文化と和”を乱さないように、より一層推進して行きたいです。当地域の医療事情については、ある程度の情報は持ち合わせております。本邦は保険診療という一定の枠組み・ルールの中で、医療知識と技能に基づいた医療行為の提供（医療サービス）を行います。昨今、医療に対するニーズの量と質は高まる一方です。その一方、物価高による医療材料費の高騰など経営的には厳しいですが、阿部真也理事長をはじめとした皆様方のご指導を仰ぎながら、スタッフの皆様方がこの施設に職を得たことに矜持を持てるよう微力ながら尽力致します。皆さまどうぞよろしくお願い申し上げます。



趣味は鉄道模型（HOゲージ、数百輦は優に超える）。旧車と猫も好きです。プジョーの紋章はライオン（ネコ科）、ライトは吊り目（猫目）、乗り心地は“猫足”。そしてたれ耳のリアル猫2匹。



竹下医師

新年あけましておめでとうございます。昨年は、コロナ感染での院内クラスター発生の対応、外来診療、訪問診療、産業医活動、八王子市の介護認定審査会への参加、看護学生実習への指導など、多岐に渡る業務を様々な職種の方々の助けを借りながら何とかこなしてきました。今年も引き続き昨年以上のレベルでやって行く覚悟です。



川戸看護部長

新年あけましておめでとうございます。2024年の新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。当院は、介護医療院・クリニック事業に加えて、昨春に訪問看護ステーションを開設しました。今年、重症心身障害者の医療型短期型入所事業にも参画することになり、地域の方々に、質の高い介護・医療・障害福祉の提供に向けて努力する施設でありたいと考えています。そして、職員がやりがいを持って働き続けることができる職場作りを推進して参りますので、今年もよろしくお願いいたします。



上田医師

新年あけましておめでとうございます。昨年は大川原先生が急逝され、その後勤務体制の変更があったり、新型コロナウイルス感染のクラスター発生など慌ただしい激動の年でした。今年の干支は辰で、私の干支です。今年、腰を据えてじっくりとやっていこうと思っております。本年もよろしくお願いいたします。

あけましておめでとうございます



	看護部 沼澤係長	訪問看護 相田所長	コメディカル部 薬局 佐藤薬局長	看護部 山本課長		
コメディカル部 リハビリ室 山本室長	コメディカル部 放射線科 上利部長代理	看護部 兒島副部長	看護部 川戸部長	事務部 服部事務長	事務部 梅本課長	事務部 永井係長

訪問看護ステーション はぎやま

新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症が5類となりましたが、それでも感染対策は今まで通りに行いながら対面式の研修会が再開となりました。講演の依頼もたくさんいただき、地域連携を目的とした勉強会「村の集い」も再開しました。また、関東大震災から100年と節目の年であり、東京都と東村山市合同の大規模な防災訓練が行われました。私も参加させていただき、初期治療の対応訓練に当たりました。このような本格的な訓練は初めてだったので大変勉強になり、スキルアップにも繋がりました。いざという時に動けるようにまた参加したいと思えます。とは言え2024年は災害やパンデミックのない落ち着いた1年になればと願っています。

所長 佐野 みゆき

フットケアについてお話をさせていただきました！

武蔵村山市緑が丘地域包括支援センターより、訪問看護ステーションはぎやまへ介護予防教室の講師の依頼があり「足の健康を守るフットケア」について、所長の佐野よりお話しさせていただきました。足を守ることは健康寿命の延伸や介護予防にも直結します。フットケアと聞くと



なんだか難しく思えますが、正しい爪の切り方や清潔にして保湿するなどの基本的なことがまず大切！その上で、日頃から自分の足を観察して「なんかいつもと違うな」と異常の早期発見ができるようになればしめたものです。主なトラブルとしては巻き爪や魚の目、水虫などが挙げられます。早めに対処することで足の健康が維持できるよう、今後もお手伝いできたらと思います。

事務 小森 麻美

本町アパート自治会主催の体操教室で講師をしました

都営東村山本町アパート自治会活動で体操教室の講師をする機会をいただきました。二つの課題を同時に行う脳トレを加えながらの運動を実施しました。二つの課題の運動は難しいものですが、皆さん笑顔で楽しく運動することができました。体操教室で日頃使わない筋肉を活性化し、楽しく健康的に過ごせたらと思います。

理学療法士 水野 綾乃



居宅介護支援事業所 はぎやま

新年あけましておめでとうございます。本年も地域の皆様との良い関係を継続できるように努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

所長 高橋 佐知子

ケアマネージャーとしてこんな地域活動もしています♪

令和3年から始まった「えんがわ介護そうだん」は、場所を本町4丁目の「ふれあい工房多目的スペース」に移し、介護サロン「ほんちょうカフェ」に形を変え、気軽に集まり介護などについて相談できる場となっています。また久米川町にある文化複合施設「百才（ももとせ）」で行っていた夏祭りを、今年度は「どんこい祭」の日に「ケアマネージャーと楽しむ村の秋祭り」として開催しました。介護のお仕事紹介や介護相談コーナーの他、ヨーヨー釣り・輪投げ・シャボン玉遊びのコーナーも設け、多くの方に楽しんでいただきました。

ケアマネージャー 佐藤 眞由美



初めての訪問看護に日々奮闘しています!!

昨年6月より訪問看護師として入職しました。当初、私は手術室看護の勤務経験しかないので訪問看護をやっているのか不安がありました。実際に利用者さんのお宅へ訪問を行うようになって半年ほど経ち、今は不安なく訪問を行えるようになりました。それは、訪問看護ステーションはぎやまのみんなが私の不安や疑問に感じたことにいつでも相談にのってくれるからです。まだまだ知識や経験が足りないので一つずつ学んで看護に生かしていきたいと思えます。

訪問看護師 本間 泰徳

武蔵村山分室開設しました！



訪問看護ステーションはぎやま武蔵村山分室を昨年夏に開設致しました。今まで訪問することができなかった武蔵村山市へも行けるようになります。緑が丘団地近くに拠点を構え、「はぎやまクオリティ」は変わらず在宅療養を支えていければと思っております。

武蔵村山市学園 3-38-39 藤ハイツ 205



久米川病院 災害活動への取り組み

2023年9月3日(日)に小池百合子東京都知事列席のもと、東京都・東村山市合同で総合防災訓練(緊急医療救護所・検視検案身元確認訓練)を実施いたしました。

医師会や看護学生の参加もあり、現実に近い状態で災害が起きた時を想定したトリアージ訓練を行うことができ、臨場感あふれる良い訓練となりました。

訓練での反省を生かし、災害時や次回訓練時に繋げていきたいと思っております。

文責:事務長 武田



訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所

はぎやま

災害訓練の一環として、非常食「アルファ米」の試食を行いました。

乾燥したアルファ米に水を注いで60分待つだけ!(お湯だと15分です)。災害時は水でも作れるのがありがたいです。今回はお湯で作りました。食べるのが初めての人も多く恐る恐る食べましたが、思っていたよりも普通で「やや炊き損じてしまったご飯」といった感じでした。試食後のアンケートでは23名中16名が「味は普通」と答え、残り7名は「まずい」でした。アルファ米を美味しく食べる工夫として、「レトルトカレーやふりかけなどで味付けを工夫する」や、「戻す水の量を加減してみる」などの意見が聞かれました。そして今回のアンケートでは、職員が家で災害時に備蓄している物についても調査しました。飲料水はほぼ全員が用意しており、非常食7割、懐中電灯8割と高い割合です。子供がいればおもちゃやおやつも、ペットがいればペットフードも用意しており、幅広く用意している様子が伺えました。試食会をきっかけに防災や災害時についての情報交換が行われました。



文責:所長 佐野

さんあい介護医療院

2023年9月23日に近隣町会と合同の防災訓練を実施しました。市役所、消防署の協力の下、「はしご車」「濃煙ハウス」「起震車」「初期消火訓練」「非常食試食」の体験をしました。(文責 児島)

今年度実施した防災訓練

- 5月 夜間緊急連絡訓練
- 7月 消火訓練
- 9月 町会合同防災イベント
- 11月 地震体験訓練
- 12月 夜間緊急連絡訓練
- 3月 協定施設合同訓練(予定)



起震車



濃煙ハウス



消火訓練

はしご車

東京消防庁
TOKYO FIRE DEPT.

L20127